

第2回アドバイザーボード以降の各委員からの意見	対応内容
1) 全体平面図に関連して	
■北東側エントランス、みちひろばについて	
○三宮駅方面から歩道を歩いてきた人たちを、どうやって園内に引き込むのが一番重要だと考えれば、北エリア、南エリアそれぞれのエントランスでは、見通しや開放感だけではなく、魅力的な花・植物の景観がある方がよい。樹木を減らして花壇を際立たせることや、仮設・移動可能な花壇の導入などもあり得るので、よく検討してほしい。(赤澤委員)	○フラワーロード～みちひろばは、既存の高木を活かした心地よい木陰の空間とします。 【資料】参考-1 完成イメージ (CG) としてみちひろば周辺 (②～④)
○景観的には、フラワーロードの舗装と東遊園地の舗装との接合・切り替えの細部が重要になってくると思う。(福岡委員)	○エントランスは開放的な景観づくりを行います。 【資料】参考 1-完成イメージ (CG) として南西側 (⑪)、北西側 (⑫)
○フラワーロードを北から歩いてきた時に、みちひろばでどのように風景が変化するかを、スケッチや複数断面などでわかりやすく示す方が良いでしょう。(福岡委員)	○魅力的な花や植物を楽しめるよう、仮設や移動可能な花壇 (プランター等) を設置します。 【資料】参考 2-プランターイメージ
○みちひろばでのマーケット等の開催を考えれば、木陰をつくる高木がもう少し広い範囲にある方がよいだろう。詳細設計や工事までに細部の検討をお願いしたい。(村上氏)	○東遊園地と連続したフラワーロードの舗装は、関係機関と調整して詳細を決定しますが、神戸の顔として風格のあるものとします。 ○詳細については実施設計で検討します。
■その他のエントランスについて	
○旧居留地側の擁壁の圧迫感が軽減されるように留意してほしい。(松岡委員)	○すべての擁壁を改良することはできませんが、旧居留地側の3つのエントランスについては、いずれも間口の拡幅、それに伴う樹木の伐採・整理、花壇の配置などによる改良を計画しています。エントランス開口幅でいうと北西側 (5m→20m)、西側 (10m→20m)、南西側 (2m→6m) 程度に広がります。 【資料】参考 1-完成イメージ (CG) として西側エントランス (⑩)、南西側エントランス (⑪)、北西側エントランス (⑫) 等
■にぎわい拠点施設について	
○既存樹木の保全のため、拠点施設の位置を少し北にずらすことを検討したい。(村上氏)	○東西方向の動線 (園路) 幅に配慮しながら、可能な範囲で対応しています。位置については施設事業者と調整します。
○拠点施設の位置が変わると周りのプランに影響が出るだろうが、協議は進めて欲しい。(嘉名委員)	
■その他の施設について	
○園内に曲線的なデザインのにぎわい拠点施設や (仮称) こどものための図書館が計画されているのに、トイレ・倉庫の建物だけが規格品の四角形のもが置かれている点に違和感を覚える。再検討を。(嘉名委員)	○トイレや倉庫は、周辺のデザインとの整合性を考えつつ、シンプルで機能的なものを配置するよう検討を行っています。 ○詳細については実施設計で検討します。
■南エリア (花時計) について	
○花時計が南エリアに設置されるとしても、今の位置や方向がベストかという疑問だ。広場の真ん中に花時計があると広場利用の妨げになるなどの弊害もあると思う。例えば、もう少し西よりに移すといった考え方もあるのではないか。(赤澤委員)	○花時計は、現在位置・方向のまま進めていくこととします。 ○南エリアは、国道2号の車の騒音などの影響があるエリアです。将来的には交通量が減少することも推測されますが、現段階では樹木等で囲いながら、快適に過ごせる空間づくりを行います。
○花時計の位置や建物との取り合いなど、細部のデザインについてはもっと詰めた検討が必要だろう。(福岡委員)	【資料】参考-1 完成イメージ (CG) として南側エリア花時計 (⑬)、税関前交差点から (⑭) 等
■南エリア (遊び場等) について	
○ (仮称) こどものための図書館から本を持ち出す利用が見込まれるので、本を保持する観点から水遊び場はない方がよい。利用者が子どもたちなので、ルールづくりや運営では対処しきれないと思う (天川委員)	○水遊び場は、図書館の運営と調整しながら、扱いを再検討します。 ○遊び場には日陰も必要です。遊ぶ空間を阻害しないように高木を配置します。
○花時計と (仮称) こどものための図書館とを中心とした広場づくりを進めるのであれば、新しく樹木を植えると遊びの邪魔になるのではないか。	○また、歩道橋の下を快適な日陰の空間として利用できるよう、歩道橋の仕上げについて関係機関との調整を進めます。 【資料】参考-1 完成イメージ (CG) として南側エリア花時計 (⑬)

第2回アドバイザーボード以降の各委員からの意見	対応内容
3)「再整備基本計画の考え方」について	
○この基本設計で定めた内容が、考え方の柱である「残したいもの」「変えたいもの」「創りたいもの」のそれぞれどこにあたるのかを、わかりやすくまとめる方が良いだろう。(福岡委員)	○「4)基本設計の方針」で必要なところが読み取れるようにするとともに、参考資料を作成しました。 【資料】参考-3 空間構成の考え方「残したいもの・変えたいもの・創りたいもの」
4)「基本設計の方針」について	
○方針の二つ目にある「にぎわい」という言葉については、昨今の新型コロナの影響もあって少し言葉のもつ意味合いが変わりつつあるように思う。使い方に工夫が欲しい。(嘉名委員) ○基本計画の将来像にある「器」という言葉や、「三宮と海とをつなぐ」「都心」といったキーワードにも留意して欲しい。(嘉名委員) ○方針の中に、運営に関わる内容が含まれていない。詳細はともかく、ある程度決まっていることがあるなら方針レベルでは示すべきだろう。(福岡委員)	○東遊園地での「にぎわい」づくりは、大規模イベントや集客施設によるものではなく、アウトドアリビング、子どもの創造性を高める空間づくりなど、思い思いの目的で利用者が集まれるような器となることを目指しています。こうした公園の姿は、with コロナ時代の都市にこそ必要なものだと考えています。 ○一方でソーシャルディスタンスを保てる施設配置やタッチレスな設備導入など、感染症対策に配慮した新しい日常につながる工夫にも取り組んでいきます。 ○運営については、今後関係機関等と調整していきます。
5-1)「花とみどり」について	
○園内にもすでにある神戸ゆかりの植物、ユーカリやイペのことも触れてほしい。(天川委員)	○神戸ゆかりの植物、地域の植物にも配慮した植栽を進めていきます。
5-2)「夜間景観」について	
○日本銀行東側の歩道など、公園の周囲で照明が暗いところがある。園内の照明計画だけでなく、沿道のことについても検討して欲しい。(松岡委員) ○公園内だけが明るくても、その先の旧居留地が暗くっては仕方がない。フラワーロードから旧居留地まで、エリア全体で照明のことについて考えてほしい。(天川委員)	○ご指摘のありました日本銀行東側歩道の照明について夜間調査したところ、歩道用照明が通常の間隔で設置され、十分な照度が確保されておりましたので当該箇所についての照明の増設はできませんが、現在事業を推進しているリノベーション神戸の一環として、市内全域の駅前周辺などのまちなか街灯について増設を実施いたします。
5-3)「休憩施設」について	
○空間に対応したアクティビティポイントの図化が必要。(福岡委員)	○様々なアクティビティについて、空間の利用を想定しています。 【資料】参考5-利用想定図
○可動式のイスなどは、誰もが自由に動かせるのか、誰かが出し入れをするのかなど、運営面がよくわからない。(天川委員)	○今後、市とにぎわい拠点施設事業者との間で、にぎわい拠点施設事業者が自ら管理するもの、市が導入・管理するものなどの仕分けを検討します。それに応じて、倉庫の詳細設計を検討します。
○芝生や、芝生で何か活動をしている人と眺めるという利用が多いので、それを考慮に入れた休憩場所や施設配置について検討を深めてほしい。(村上氏)	○固定式のものについては基本設計の中で配置・数量などを定め、実施設計を通じて詳細を検討します。 ○可動式のものについては、引き続き拠点施設事業者との協議を進めていきます。
参考2) 市民アンケート結果について	
○市民から、せっかく沢山の回答が寄せられたのであれば、もう少し細かい丁寧な説明を掲載すべきではないか。例えば、自由意見で賛成・反対でどのような意見があり、それを基本設計にどのように反映したのか、などが考えられる。(福岡委員)	○今後、アンケートの結果として、別途内容を市のHP等で公表します。
その他) 運営に関わる事項について	
○(仮称) こどものための図書館、にぎわい拠点施設のアウトドアライブラリー、新三宮図書館や整備期間中のKiitoへの仮移転など、近いところで機能の重複する施設の計画が動いているので、それらの連携や役割分担を考えねばならない。(永田委員)	○にぎわい拠点施設のアウトドアライブラリー、新三宮図書館(整備期間中はKiito)と連携を強化し、適切に運営できるよう調整を行っていきます。
○とくに(仮称) こどものための図書館では、具体的にどのような層を狙って、どのような図書を選び、どのように運営するのかという点が見えてこないで、そこは市でしっかりと考えてほしい。(永田委員)	
○(仮称) こどものための図書館では本を公園内に持ち出して読むことが考えられているので、例えば震災関連の本を読んでから公園内のモニュメントを見学するような流れを導く運営が必要だろう。(嘉名委員)	

完成イメージ② ～北東エントランス～

【現 況】



【計 画】



完成イメージ③ ～フラワーロードから広場へ～

【現況】



【計画】



完成イメージ④ ～メタセコイヤ並木付近～

【現 況】



【計 画】



完成イメージ⑩ ～旧居留地からのエントランス～

【現 況】



【計 画】公園側から



【計 画】



完成イメージ⑪ ～南西角のエントランス～

【現況】



【計画】



完成イメージ⑫ ～北西角のエントランス～

【現況】

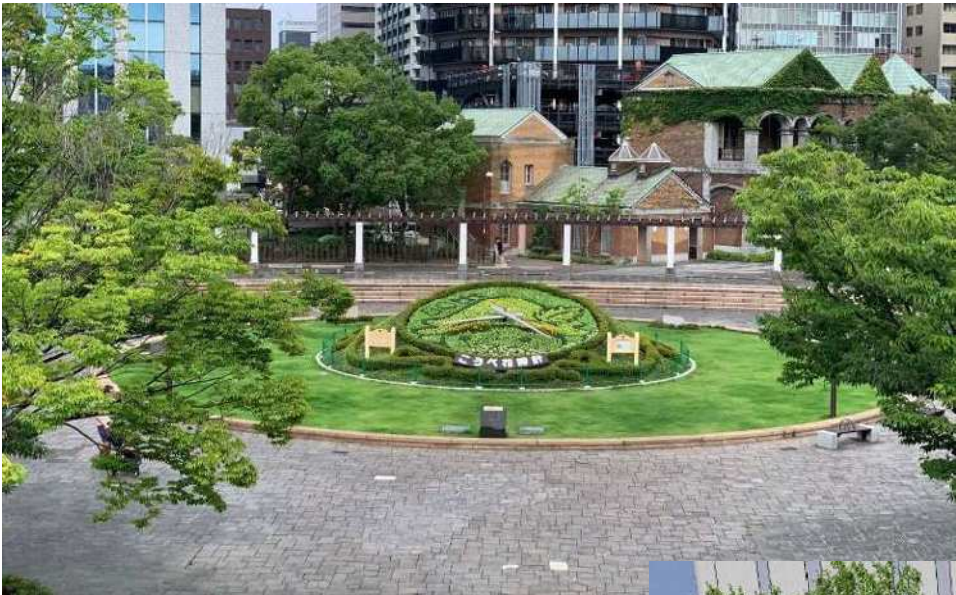


【計画】



完成イメージ⑬ ～南側エリア花時計～

【現況】



【計画】地上部から



【計画】



完成イメージ⑭ ～税関前交差点からの見え方～

【現況】



【計画】

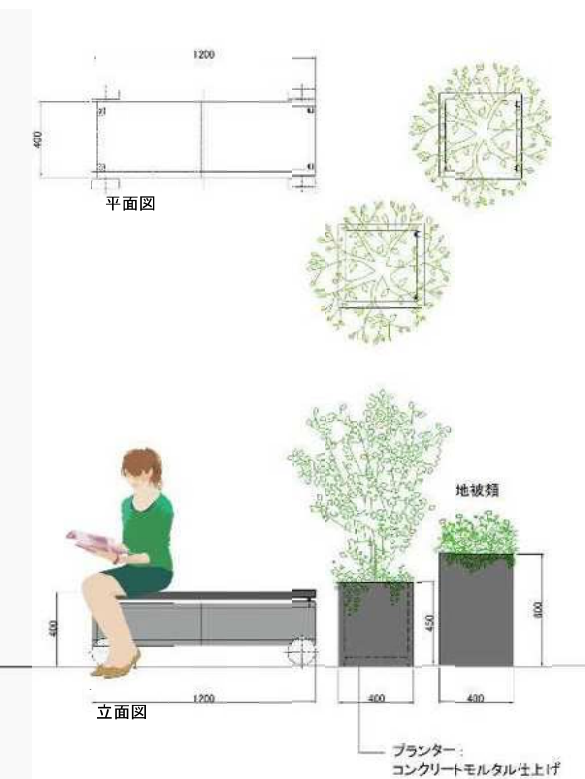


プランターイメージ

《大型可動式プランター》
 夏季に芝生ひろばに緑陰をつくる



《中型可動式プランター》
 みちひろば等に設置し、利用に合わせて可変する



《仮設プランター》
 季節イベント等に合わせて公園を演出する
 街並みと調和し、まちづくりと連携するプランター



可変性の高いプランター



旧居留地プランターと連携

再整備基本計画において空間構成の検討で設定された基本的な考え方「残したいもの」、「変えたいもの」、「創りたいもの」を整理する。

残したいもの 一次世代につなぎたいー

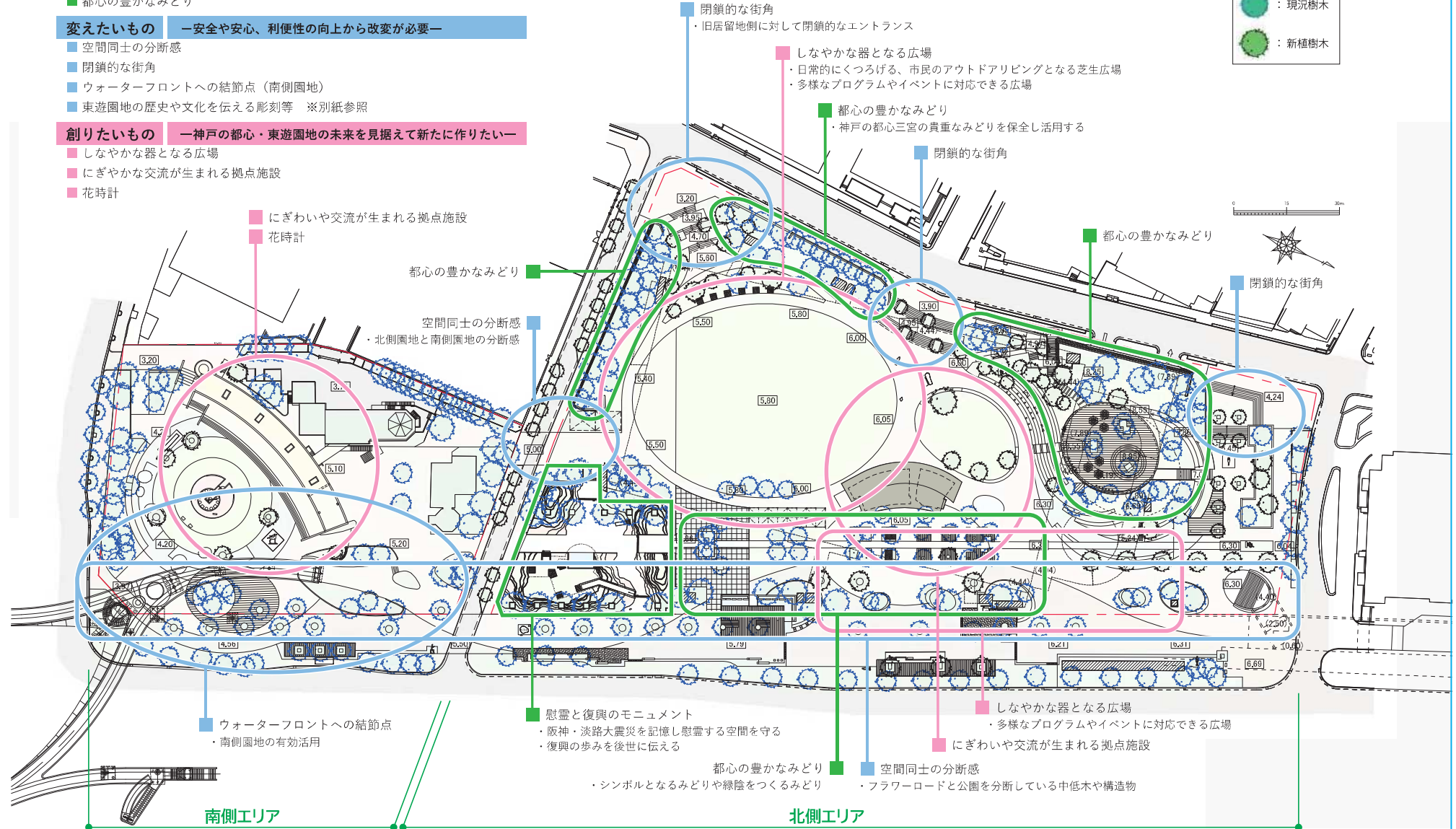
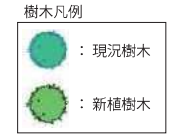
- 慰霊と復興のモニュメント
- 都心の豊かなみどり

変えたいもの ー安全や安心、利便性の向上から改変が必要ー

- 空間同士の分断感
- 閉鎖的な街角
- ウォーターフロントへの結節点(南側園地)
- 東遊園地の歴史や文化を伝える彫刻等 ※別紙参照

創りたいもの ー神戸の都心・東遊園地の未来を見据えて新たに作りたいー

- しなやかな器となる広場
- にぎやかな交流が生まれる拠点施設
- 花時計



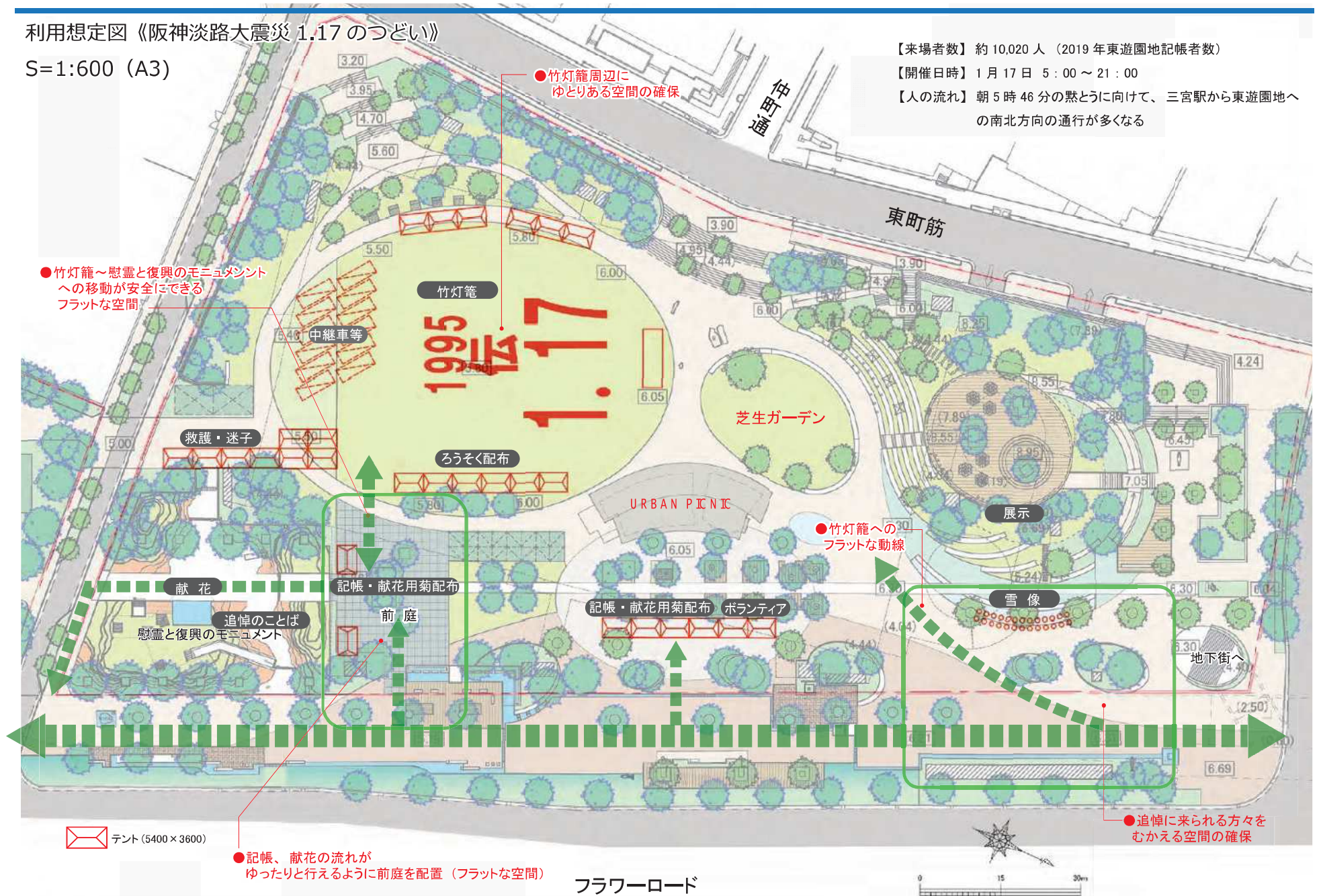
利用想定図《阪神淡路大震災 1.17 のつどい》

S=1:600 (A3)

【来場者数】約 10,020 人 (2019 年東遊園地記帳者数)

【開催日時】1 月 17 日 5 : 00 ~ 21 : 00

【人の流れ】朝 5 時 46 分の黙とうに向けて、三宮駅から東遊園地への南北方向の通行が多くなる



●竹灯籠～慰霊と復興のモニュメントへの移動が安全にできるフラットな空間

●竹灯籠周辺にゆとりある空間の確保

●竹灯籠へのフラットな動線

●記帳、献花の流れがゆったりと行えるように前庭を配置 (フラットな空間)

●追悼に来られる方々をむかえる空間の確保

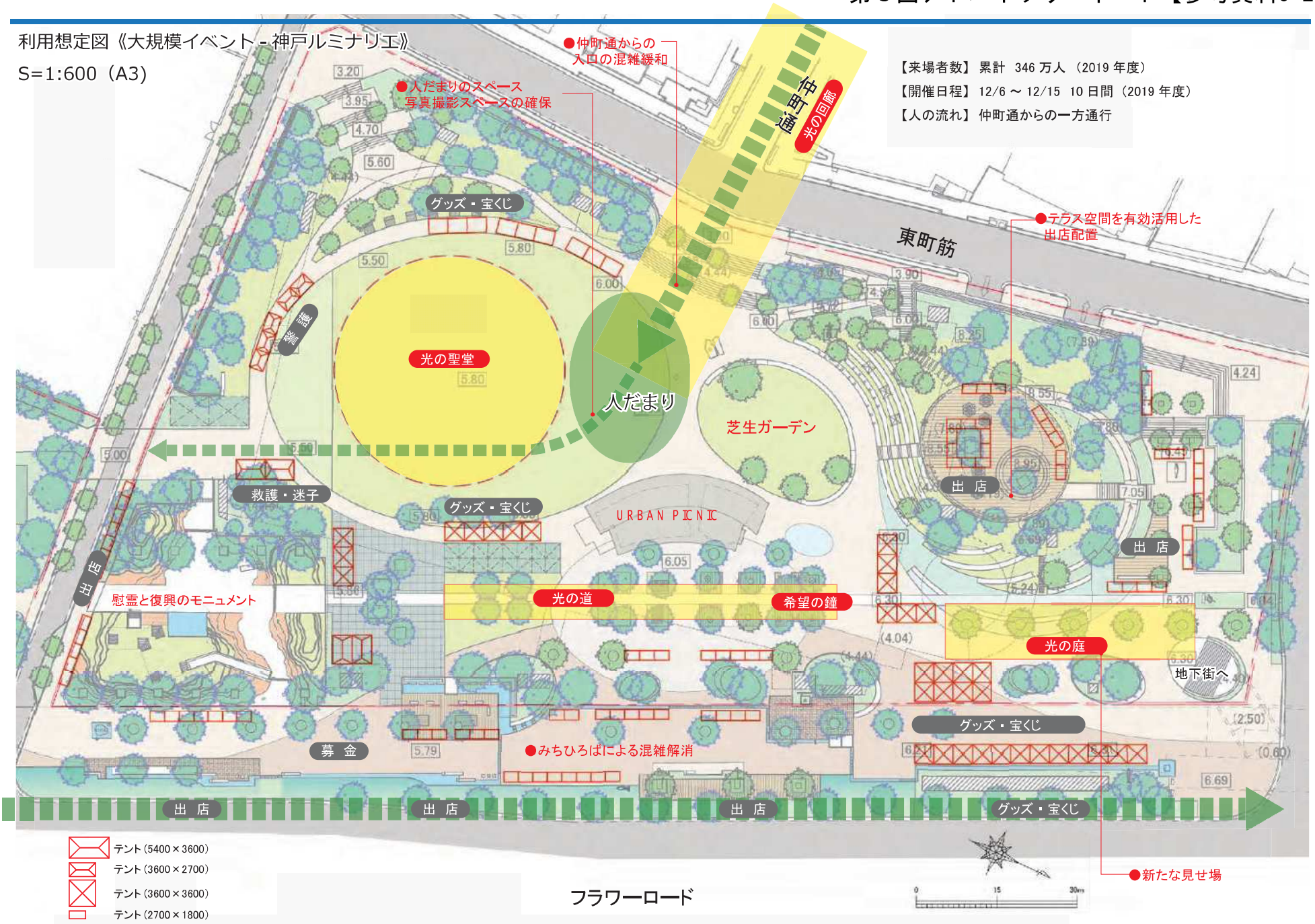
テント (5400×3600)

フラワーロード



利用想定図《大規模イベント-神戸ルミナリエ》

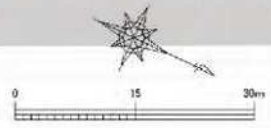
S=1:600 (A3)



【来場者数】累計 346 万人 (2019 年度)
 【開催日程】12/6 ~ 12/15 10 日間 (2019 年度)
 【人の流れ】仲町通からの一方通行

- テント (5400×3600)
- テント (3600×2700)
- テント (3600×3600)
- テント (2700×1800)

フラワーロード



●仲町通からの
入口の混雑緩和

●人だまりのスペース
写真撮影スペースの確保

●テラス空間を有効活用した
出店配置

光の道

希望の鐘

光の庭

●みちひろばによる混雑解消

●新たな見せ場

仲町通
光の回廊

東町筋

人だまり

芝生ガーデン

URBAN PICNIC

慰霊と復興のモニュメント

救護・迷子

募金

地下街へ

出店

出店

出店

グッズ・宝くじ

グッズ・宝くじ

グッズ・宝くじ

出店

出店

グッズ・宝くじ

利用想定図《休日の中規模イベントとグループ等利用》※概ね 4㎡/人 として図化

S=1:600 (A3)

